

平成25年12月25日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



国際村音楽祭 ウクライナの歌姫ナターシャ・グジー コンサート



国際村だより もくじ

- P 2 : 国際村音楽祭
- P 3 : コロラドスタディツアー2013
- P 4 : 夏休みアマゾン子どもフェスティバル
ミュージアムで絵を描こう!
永武ひかる講演会+写真展「森に聴く from アマゾン」
- P 5 : 中国語集中講座
ワールドコミュニケーションクラブ報告
- P 6 : せかいの台所〜フィリピン・タイ
フレンドシップサロン
- P 7 : 日本語教室 ぶどう狩り
庄内空港通訳ボランティア
日本語スピーチコンテスト
- P 8 : アマゾン民族館閉館のお知らせ
鶴岡ライオンズクラブ奉仕作業
賛助会員募集 あとがき



アマゾン民族館

世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00～17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 61

Quarterly



挨拶

実行委員会委員長 坂東 清一

「ウクライナ」という国名を聞いて直ぐに白地図の上に位置を示せる人は少ないと思います。旧ソ連の一つでチェルノブイリ原発のあった国、程度の認識しかなかった自分が何故ウクライナ人のナターシャのコンサートを鶴岡で聞きたいと思ったのか？

確か2年前にたまたま聞いていたNHKラジオの番組にゲストとして出演していたナターシャのトークと歌、そして民族楽器だというバンドウーラの音色、初めて聞く彼女の歌でした。素敵な歌と演奏でした。放送の終わりにしっかり彼女の名前をメモしていました。

たった一度ラジオで一曲聞いただけでしたので、もっと聞きたいし知りたいたいと思いついて、早速CDアルバムを一枚買いました。毎日のように車の中で聞き、他の曲も聞きたくてクラシックを中心にしたCDを又一枚購入しました。彼女の音楽も良かったけれどCDのジャケットも綺麗で魅力的でした。それとバンドウーラという楽器、初めて知った楽器だけど名前だけでも何か縁みたいなものを感じてしまいました。これはぜひ、生で彼女のコンサートを見たいと思い続けていました。色々問い合わせをしてみると鶴岡に呼べるかもしれないと分かりました。

そんな時、毎年行われている出羽庄内国際村音楽祭の企画を思い出し、まさにこの企画の趣旨にピッタリではないかと思い、エントリーすることになりました。

その後、私個人の事情により一度は断念するつもりでしたが、多くの実行委員の皆さんと事務局スタッフの方々のご尽力で開催できる事になりました。そ

の後、実際に開催準備に入る時期になっても諸事情により、スタートが例年に比べかなり遅くなってしまいました。そんな事もあり、果たして成功したと言えるだけの人がチケットを買ってきてくれるだろうかと、とても心配しました。

開催日近くなってやっとチケットが売れているらしいと分かり、期待しながら当日を迎えました。前夜の会場準備にも多くの実行委員会の方々と、当日は来られない方々も来てくれて、やはりこれは国際村音楽祭のこれまでの積み重ねがあったからだと思えて感心しました。

コンサートの中身は言うまでも無くお出でいただいた観客の皆さんに喜んでもらえたと思っております。終了後CDを買い求める方やサインをもらおうとする方々も多かったようでした。出口でお見送りしていると、沢山の知らない方々から「良いコンサートをありがとうございました」と声をかけていただき、嬉しかったです。

今回のコンサート、色々苦しい事もありましたが、多くの実行委員、スタッフの方々ののおかげで結果オーライで終了でき、皆さんに心から感謝しています。

みんなでつくるコンサートです

出羽庄内国際村音楽祭は、普段なかなか聞く機会のない世界の様々な音楽を、実行委員会を中心に、広く皆さんに紹介しているコンサートです。

聞いてみたい世界の音楽、みんなに聞いてもらいたい民族音楽等がありましたら、ぜひ実行委員として一緒に実現しましょう！

コロラドスタディツアー2013

7月25日～8月7日

出羽庄内国際村では、今年も「コロラドスタディツアー」を実施しました。今年の参加者は全部で8名。中学生1名、高校生3名、高専生3名、社会人1名というメンバーで、数回の事前研修会を経て、現地研修に臨みました。日程は7月25日から8月7日まで。コロラドの夏は暑くてもカラッと乾燥しており、日本とは一味違った夏を体験してきました。

コロラドツアーは今年で6回目。昨年に引き続き、現地コーディネーターの村治孝浩氏に全体プログラムを、またホームステイについてはデンバー大学のプログラムなども担当しているジム・キダー氏に調整をお願いしました。



ホームステイ

今年、私たちを受け入れてくださったホストファミリーは全部で10家庭。組み合わせの関係で、複数の家庭のホームステイを体験できた人もいました。

ほぼ毎年このツアーのホストをしてくれている家庭、初めて受け入れてくれた家庭など様々でしたが、最初は不安げな日本からの訪問者を、本当に温かく迎え入れてくれました。ほとんどの家庭はデンバー大学周辺にあり、いくつかの家族が連絡を取り合って、一緒に過ごすということもあったようです。ご夫婦のどちらかが外国から来た（ネパール、ジンバブエ、ベトナム、中国、グアテマラなど）という家族も多く、アメリカの人種や文化の多様性を、生活の中で実感することができました。

プログラム

今年も内容は盛りだくさん！ ロッキー山脈の自然の中をハイキングしたり、ラフティング、乗馬も体験しました。コロラドは標高が高く、マラソン選手などの高地トレーニングの場所としても有名。広大な自然を満喫しました。

ダウンタウンでは、自然科学博物館を見学したり、日

本語学習をしている地元のサークル「ユース・イン・アクション」の生徒たちと街見学をしたりしました。また、在デンバー総領事館を訪問し、大野総領事と懇談。コロラド州の状況や日本とアメリカの関係などについてお話をうかがいました。



中央：大野郁彦総領事

事前研修でも力入れたのは、訪問期間中にある日米協会のピクニックで披露する花笠踊りと芋煮でした。芋煮は公園の中で約200人分を調理し、ふるまいました。味噌味、しょうゆ味共に好評で、山形のよいピーアールになりました。

このスタディツアーは、今後も継続していく予定です。英語だけでなく、文化や言葉の違いを越えた、人と人との交流を体験できます。興味のある方はぜひ、国際村にお問い合わせください。



◎ 参加した皆さんから ◎

- このツアーを終えて、少し度胸が出てきた。これからどんなことでもあきらめず、挑戦し続けたい。
- この経験を忘れずに、一生の宝にしていきたい。このメンバーで行けたのも、とても嬉しかった。
- 短い時間だったが、大切な思い出ができた。
- 人種や出身国が違う人達に会ったことは、これからの自分に大きな影響を与えてくれると思う。
- 英語がやっと聞き取れ始めたころにツアーが終了して、残念だった。
- 今回のツアーで、チャレンジ精神が増した。
- コロラドの雄大な自然に感動した。
- ホストファミリーとの時間が一番楽しかった。

夏休みはアマゾンに住むインディオの生活を体験しよう 夏休みアマゾン子どもフェスティバル



アマゾンに住むインディオ達の生活について体験を通してより深く理解しようと、毎年夏に企画している「夏休みアマゾン子どもフェスティバル」が8月10日に開催され、17名の子ども達と一緒に最後のアマゾン体験をしました。(アマゾン民族館は平成26年3月30日をもって閉館致します)

今回の特別体験は、「首飾り作り」と「マンジョーカの試食」、「グアラナの試飲」を行いました。首飾り作りでは、子ども達が持ってきた果物の種を鍋で煮



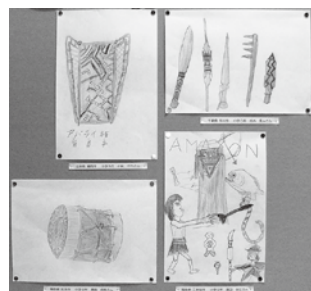
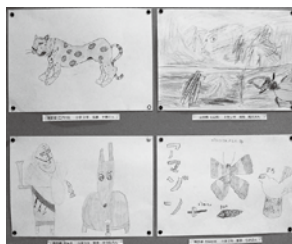
て柔らかくし、一個ずつ穴をあけ、インディオが作った首飾りを参考にしながら小さな穴に糸を通して作りました。細かい大変な作業でしたが、子ども達はとても真剣に取り組みました。また、インディオの主食であるマンジョーカ芋を食べたり、アマゾンの木の実グアラナを溶かした水を飲んでみたりして、その不思議な味をワークシートに記入。山口館長がピラルクーの舌でグアラナの実を擦る実演をすると、子ども達は目を丸くして眺めていました。この様々な体験が子ども達のアマゾンへの関心を高めてくれたと思います。参加ありがとうございました。



7/20～8/31 ミュージアムで絵を描こう!

やまがたアートライン実行員会が主催し、県内各博物館・美術館等で実施している「夏休みこどもミュージアムめぐり」の事業の1つである「ミュージアムで絵を描こう!」。7月20日から8月31日までの期間中、アマゾン民族館内の展示資料を子ども達がスケッチしました。寄せられた全55作品の中から小学生低学年の部、高学年の部それぞれ4枚ずつ館長賞に選ばれ、受賞作品は現在アマゾン民族館前に掲示されています。ぜひ皆さん見に来てください。

「館長賞」受賞作品
(▼下) 小学生低学年の部



(▲上) 小学生高学年の部



永武ひかる講演会+写真展

『森に聴く from アマゾン』



アマゾン民族館の閉館に際し企画事業として、写真家・永武ひかるさんの写真展(11月26日～12月1日)と講演会(11月30日)を国際村ホールで開催しました。永武さんは民族館開館当初にも講演で訪れており、非常に山口館長と縁が深い方です。平成23年3月に一度永武さんの写真展を実施したのですが、講演会予定日の前日に東日本大震災が発生し、講演会は中止となり、今回実現に至りました。

写真展では今年10月にブラジルを訪れた際にインディオの子ども達が撮影した写真や、生い茂るジャングル、痛みをとるま



じないの様子など、アマゾンの豊かな自然とそこに暮らすインディオ達の生活を写した写真、計28点を展示しました。

講演会ではアマゾン川の主な支流域に住むインディオ達の生活を、永武さん撮影の映像とともに紹介。10年前に撮影したカラジャ族の子ども達の現在の姿なども映し出され、山口館長が調査した当時とはまた違う、今を生きるインディオ達の現状について、様々なお話を聞くことが出来ました。アマゾンの森林伐採や金の採掘、ダム建設などが世界の自然環境へどのような影響を及ぼすのか、いろいろと考えさせられた講演会でした。

10/20
(日)

中国語集中講座 一日の行動を中国語で話してみよう!

10月20日(日)、毎年秋の恒例中国語集中講座が開講され、16名の方に参加いただきました。過去3回は中国へ旅行に行くという設定で、茶房や、ホテル、病院などでの会話を学びましたが、今年は内容を一新し、一日の様々な行動を中国語で考え、話し、語彙力や表現力を強化できるような講座にしました。

ホールの中に3つの生活の場面「外出先での行動」「家の中での行動」「仕事先での行動」のブースを設け、参加者はそこで引いたヒントカードを元に、中国語の文を考えたり、自分が表現したい事柄を付け足したりして、頭をフル回転させて中国語の文を考えます。

その後、各ブースにいる中国出身の協力者に、考えた文を話して自分の言い方が通じるか聞いてもらい、さらに会話を続けてみたりしたりします。また今回は日本語教室の学習者で、中国出身の方5名にも特別に協力してもらい、彼女たちと自由に会話を楽しむ「フリートーク」のブースも設けました。学習者は思いっきり会話を楽しんでいました。中国語で会話する機会がなかなかないので、実際にネイティブと会話し、自分の実力を見てもらう大変良い機会になったようです。

さらに、講座の最後にはそれぞれ学んだことを活かし、自由に中国語で発表しました。みなさんユニークな発表内容を考え、新しい言い回しなど、この日学んだことを取り入れて発表していました。



参加者より

年に一度のこの講座は、私にとって一年間中国語を勉強してきた成果を確認する良い機会となっています。実際進歩したかというところ・・・？ですが、今回のテーマが「一日の行動を中国語で」ということだったので、身近な中国語を楽しく勉強できました。毎回趣向を凝らした講座なので来年も楽しみにしています。

協力者より

この講座では、学習者の方と中国語で会話したり、表現方法を教えたりして、楽しい時間を過ごせました。もっと交流したいという気持ちと、また来年も皆様と会える楽しみが私の心の中に残りました。中国人と会話するのは中国語を上達する一番の方法だと、この講座を通して改めて感じました。再見!

ワールドコミュニケーションクラブ活動報告

英語が好きな中学、高校、高専生が毎月一度集まって、さまざまな活動をしています。今年度は5名が会員になっています。

4月からは庄内地域のALT、アメリカ出身のコーリーさんとイギリス出身のクリスさんが指導者として協力してくれています。2人と一緒にスキットを通してより自然な英会話を学んだり、ワシントン州からの高校生訪問団と芋煮を作ったり、英語の詩を使って英語のリズムを学んだりなど、英語を使った活動をしています。9月からはアメリカ出身の留学生も加わり、日本語と英語両方を交えてゲームをするなど、異文化理解、国際交流を深めています。

このクラブにはいつでも参加できるので、希望する方は国際村(電話:0235-25-3600)まで、ぜひご連絡ください!



コロラド州訪問団とワールドバザールのステージに参加

私達は毎月1回、コーリー先生とクリス先生と交流をしながら英語を学んでいます。クラブに参加できてとても嬉しいです。クラブを通して私の視野が広がりました。素晴らしいクラブだと思います。(中学2年 伊藤彩夏)

ネイティブスピーカーの先生と勉強できるのがこのクラブの魅力の一つだと思います。英語を使うことは難しいですが、ゲームなどを通して楽しく勉強しています。もっと英語を身につけられるように頑張ります。

(高専4年 佐藤めぐみ)

国際村 せかいの台所



8月フィリピン料理 & 10月タイ料理報告

8月25日(日) フィリピン料理 ～ 渡会ジーン先生の台所 ～

第3回はフィリピン料理。肉の煮込み料理、野菜のココナッツミルク煮に挑戦。そしてパイナップルをフィリピン流に食べてみました。野菜の種類が豊富で色鮮やかな料理が並び、目でも十分楽しめました。パイナップルには塩をかけましたが、味の対比効果が出てとても美味しいと好評でした。最後には先生から参加者全員にパプリカまでいただきました。今回の料理教室は、先生がとても明るくフレンドリーで、終始笑顔のあふれる会になりました。



10月19日(土) タイ料理 ～ タニチャヤ・プットミー先生の台所 ～

第4回目はタイ料理。タイ風オムレツ、鶏肉と筍のレッドカレー炒め、かぼちゃとココナッツのミルクデザート煮を作りました。オムレツは一人ずつ順番に挑戦し、卵で具を上手に包むことが出来ると、あちらこちらから歓声があがり、盛り上がっていました。

レッドカレーペーストの辛味やココナッツミルクの甘味を両方味わうことができ、また日本人の舌にも合う料理ばかりで皆さん大満足でした。次回の料理教室は2月に開催を予定しています。料理が趣味の方や、国際交流に興味のある方はお気軽にご参加ください。



フレンドシップサロン



フレンドシップサロンは、様々な分野で活躍されている、県内外、国内外のいろいろな方をゲストにお招きし、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ“お話サロン”です。

9/21

フランス入門@

ニース・コートダジュール

スピーカーは当財団事務局主事の佐藤幸。自身のフランスでの語学研修、生活を通して見たフランス、フランスの家庭、フランス語の学習の感想などについて、たくさんの写真とともにわかりやすく紹介しました。

いつもコース料理のような家庭の食卓、豊富なチーズの種類、フランス語授業のスピードの速さ、フランスに憧れる日本人女性ほど「パリ症候群」になりやすくなるなど、フランスの様々な興味深い事柄が盛りだくさん。

語学研修とホームステイの体験紹介でしたので、これ



から海外に滞在しようという人や外国での語学研修を考えている人、また、これから新たに外国語を勉強しようと思っている人には参考にもなる内容でした。

10/19

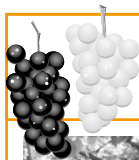
コロラドスタディツアー2013 報告会

スピーカーは今年の夏に国際村のコロラドスタディツアー参加者のみなさん。このスタディツアーは平成20年から毎年夏に実施していますが、フレンドシップサロンでの報告会は今回が初めてです。

8名の参加者が一人一人、ツアーで体験したホームステイを通して感じた日常生活での文化の違いをはじめ、現地での英語学習、乗馬、ラフティング、デンバー総領事館訪問など様々な活動について感じたことなどを話してくれました。

皆さんの共通した感想は、「ツアーに参加することで、英語を話すことに自信がついた」「ツアー後には新しいことに挑戦する気持ちが強くなった」というもの。この夏の体験が将来も生かされることを期待します。





日本語教室

ぶどう狩り&いも煮会



9月29日、今年も日本語教室の学習者とその家族、ボランティアの皆さんで秋恒例のぶどう狩りといも煮会を楽しみました。参加者は22名。当日はとても天気が良く、まさにぶどう狩り日和でした。櫛引の観光果樹園に集まった参加者は、いろいろな種類のぶどうを食べ比べ、熱々のいも煮を食べて、もうお腹いっぱい！

いつも真剣に日本語を勉強している学習者も、この日はのびのびと日本語や母国語を話しながら楽しい時間を一緒に過ごしました。中には家族や友達へのお土産として、自分で狩った大量のぶどうを買い込む参加者も。帰りのバスの中でもぶどうの話で持ちきりでした。



庄内空港での 通訳ボランティア活動

10月22日、約130人の観光客を乗せた台湾からの国際チャーター便が庄内空港に到着。25日には観光を終えた一行が再び庄内空港から帰国しました。その際、国際村では通訳ボランティアを派遣しました。

到着の時、空港では歓迎イベントが行われ、通訳ボランティアの皆さんは関係者らと一緒に「歓迎光臨」などと声を掛けながら、中国語を使いながら山形県の観光パンフレットを配ったり、朝日町産のリンゴのお土産を渡したりしてお客さまを迎えました。ロビーでは自動販売機、お手洗いの場所案内などもしました。

また帰国の際には、出国手続きをスムーズに進めるため、「请把水壶、水杯拿出来放在塑料托盘里(水筒、コップを出してトレーに入れてください)」、「打火机随身只能带一个(ライターは一個だけ)」などの声を掛けながらお客さまを見送りました。その国の言葉での歓迎やお手伝いは、観光客への印象も違うようです。

これからは外国人観光客の誘致活動が盛んになり、2020年の東京オリンピックの開催によっても庄内に来る外国人観光客が増え、通訳・翻訳の活動も多くなると考えられます。ボランティアの皆さん、引き続きご協力よろしくお願いいたします。興味のある方も国際村までお声掛けください。



日本語スピーチコンテスト in 庄内 11月17日

日本語スピーチコンテストin 庄内が、11月17日に酒田市公益ホールで開催され、庄内在住の外国出身の方9名が、日本での体験などを思い思いにスピーチしました。このコンテストは今年で3回目。庄内の各地にある日本語教室や国際交流協会などが協同して実行委員会を立ち上げ、1回目の鶴岡、2回目は庄内町、そして今回の酒田市と毎年会場を移しながら実施してきました。

今年の参加者の出身国も、中国、韓国、イギリス、ブラジル、フィリピン、ウガンダと様々。庄内の文化の多様性が改めて感じられました。

国際村の日本語教室からも、2名が参加してくれました。出場を決めてから、何度も原稿を書き直し、発表の練習をして臨みました。日本語ボランティアの担当の先生からアドバイスをもらったりなど、スピーチの準備は大変でしたが、とてもいい勉強になったようです。

当日の発表者9名は、在日期間も最短で9カ月、長い人では20年を超える人と様々でしたが、当日までの準備と練習の成果を発揮し、とても流暢に、時には身ぶり手ぶりも交え、表情豊かに表現してくれました。

言葉も文化も違う、異国の日本で生活することは、想像以上に困難や戸惑うことがあったに違いありません。中でも、日本のいいところや生活の中の楽しみ、希望を見つけ、縁があったこの庄内で素晴らしい人生の時間を過ごしたいという前向きな姿勢は、発表者全員から感じられました。

大賞には「文化ショック!?食文化」と題して、故郷ブラジルの家族の話を交えて発表した松生フェルナンドさんが選ばれました。また優秀賞を受賞した2人は、「私の器」と題して発表したフィリピン出身の渡会イメルダさん、「言葉が大変です!」というタイトルで言葉の難しさを発表した、ウガンダ出身のバリンダ・クロビスさんでした。

庄内一円で実施しているこのコンテスト、来年は遊佐町を会場に開催する予定です。



アマゾン民族館 閉館のお知らせ



平成6年4月24日、出羽庄内国際村のオープンと同時に開館したアマゾン民族館(鶴岡市国際民族資料館)は、平成26年3月30日を以って閉館致します。

山口吉彦館長が長年かけてアマゾン先住民インディオ達の集落を訪れ、物々交換で直接収集してきたインディオの知恵・生活文化があふれる貴重な資料を展示しているアマゾン民族館。開館以来、約20年にわたり、多くの方々に親しまれ、またその支えを受けながらこれまで歩んできました。日本国内どこを探してもこれほどのアマゾン先住民インディオの民族資料を展示・管理している施設は他になく、今では規制によりブラジル国外には持ち出し禁止の資料も多く展示してあります。またアマゾンでも文明化が進むにつれインディオ達の生活も変化してきており、かつての生活様式や文化を伝える資料は大変貴重で、世界でも有数のコレクションとして皆様に愛されてきました。みなさまのご愛顧に心から感謝を申し上げます。閉館まであとわずかですが、最後まで皆様に楽しんで頂きたいと思っております。



■休館日
毎週月曜日(祝日の場合翌火曜日)
12月29日～1月3日
2月15日～2月28日は
開館致します。

鶴岡ライオンズクラブ 奉仕作業

鶴岡ライオンズクラブの皆さんから、毎年出羽庄内国際村の草取りの奉仕をいただいています。今年も6月2日と9月7日に早朝から作業をしていただきました。どうもありがとうございました。



あとがき

来年は国際村がオープンして20年、節目の年に当たります。景気の低迷や震災の影響で減少傾向にあるとはいえ、在住外国人の方は財団設立当時に比べ3倍以上になっております。

これまで、市民レベルの国際交流支援、国際理解を深めるための各種学習機会の提供、在住外国人への相談・支援などに取り組んでまいりました。

取り巻く環境は変化しても、日本と外国それぞれの文化や習慣の多様性を認め、それらを受け入れ、日本人・外国人お互いに安心して暮らせる地域を実現していく事が国際村に求められている役割と考えております。

今後に向けて、皆様からお気付きのことや新たな提案など、事務局にお寄せいただければ幸いです。来年もどうぞよろしくお願い致します。

賛助会員へのご協力よろしくお願いします

国際村では皆様からの支援を賜り、様々な事業を実施しています。今後も充実した事業実施のために、皆様からのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

賛助会員の特典は、①会報「国際村だより」の送付、②主催事業のご案内、③主催事業参加費の1割引、④会報で団体名のご紹介(法人会員様のみ)、⑤アマゾン民族館の年間フリーパス券発行です。尚、アマゾン民族館は平成26年3月をもって閉館いたします。賛助会員の方はぜひ閉館前に特典をご利用ください。

《年会費》個人会員 大人/3,000円、高校、大学生/2,000円、小、中学生/1,000円、法人/1口10,000円(大人の会員はご家族5名様、法人会員も5名様まで有効です)
《期 間》入会日から平成26年3月31日まで。